

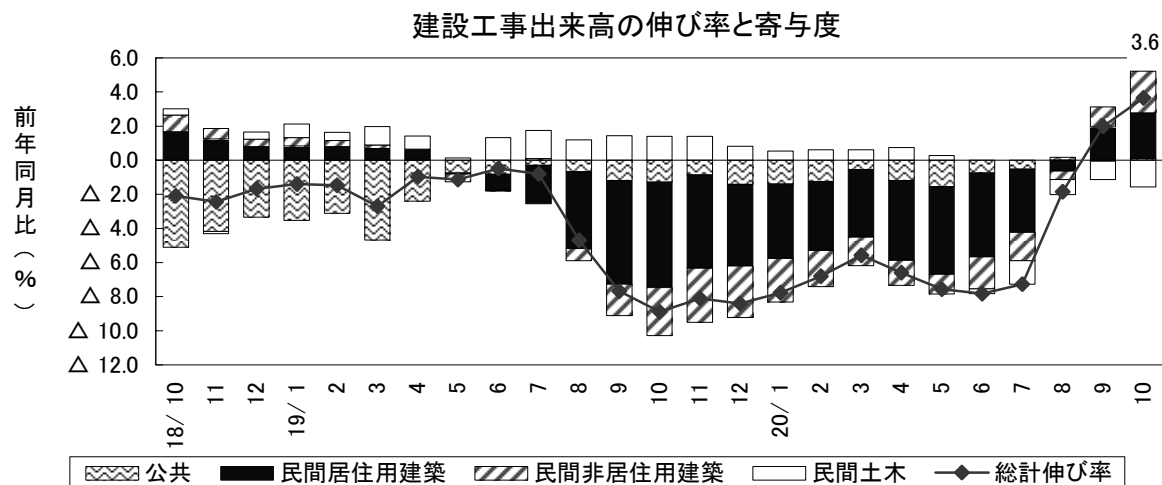
1. 建設投資の概況

(1) 建設工事出来高

10月の建設工事出来高は、全体で4兆5,864億円と前年同月比3.6%増加した。

公共は、建築が2,100億円（前年同月比1.8%増）、土木が1兆4,014億円（同0.1%増）となり、全体では1兆6,114億円（同0.3%増）となった。

民間は、建築が2兆4,309億円（前年同月比10.3%増）、土木が5,441億円（同11.4%減）となり、全体では2兆9,750億円（同5.6%増）となった。



(単位：億円)

区分 年度年月		総計	民間	建築		土木	公共	
				居住用	非居住用			
年	17年度	536,080	338,704	278,771	188,528	90,242	59,934	197,376
	18	528,833	353,226	289,561	195,441	94,119	63,665	175,608
	19	500,514	330,587	261,618	176,043	85,575	68,969	169,927
月	20年7月	37,589	26,968	21,807	14,461	7,346	5,161	10,621
	8	40,333	28,096	22,926	15,170	7,756	5,170	12,237
	9	43,228	29,345	23,768	15,646	8,122	5,578	13,883
	10	45,864	29,750	24,309	15,982	8,327	5,441	16,114

(前年比・%)

年	17年度	1.3	3.8	3.3	1.2	8.0	6.3	△ 2.9
	18	△ 1.4	4.3	3.9	3.7	4.3	6.2	△ 11.0
	19	△ 5.4	△ 6.4	△ 9.6	△ 9.9	△ 9.1	8.3	△ 3.2
月	19年10月	△ 8.9	△ 11.6	△ 16.6	△ 16.9	△ 15.8	12.4	△ 3.7
	11	△ 8.1	△ 11.4	△ 16.5	△ 15.4	△ 18.7	12.5	△ 2.3
	12	△ 8.4	△ 11.2	△ 15.4	△ 13.9	△ 18.6	7.1	△ 3.7
	20年1月	△ 7.8	△ 10.3	△ 13.7	△ 12.8	△ 15.7	4.7	△ 3.7
	2	△ 6.8	△ 8.8	△ 12.1	△ 11.8	△ 12.7	5.1	△ 3.4
	3	△ 5.6	△ 7.9	△ 11.5	△ 12.1	△ 10.3	4.3	△ 1.5
	4	△ 6.6	△ 8.0	△ 11.2	△ 12.7	△ 8.2	5.7	△ 3.7
	5	△ 7.6	△ 8.2	△ 10.4	△ 12.6	△ 5.9	2.1	△ 5.8
	6	△ 7.8	△ 9.6	△ 11.3	△ 12.2	△ 9.6	△ 1.9	△ 2.9
	7	△ 7.3	△ 9.2	△ 9.1	△ 9.4	△ 8.4	△ 9.7	△ 1.9
次	8	△ 1.8	△ 2.9	△ 2.0	△ 1.7	△ 2.6	△ 6.5	0.6
	9	2.0	3.1	5.9	5.6	6.5	△ 7.5	△ 0.2
	10	3.6	5.6	10.3	8.0	15.0	△ 11.4	0.3
累計	4月~10月	△ 3.4	△ 4.2	△ 4.1	△ 5.1	△ 2.0	△ 4.5	△ 1.7

資料：国土交通省「建設総合統計」

(2) 公共機関からの受注工事

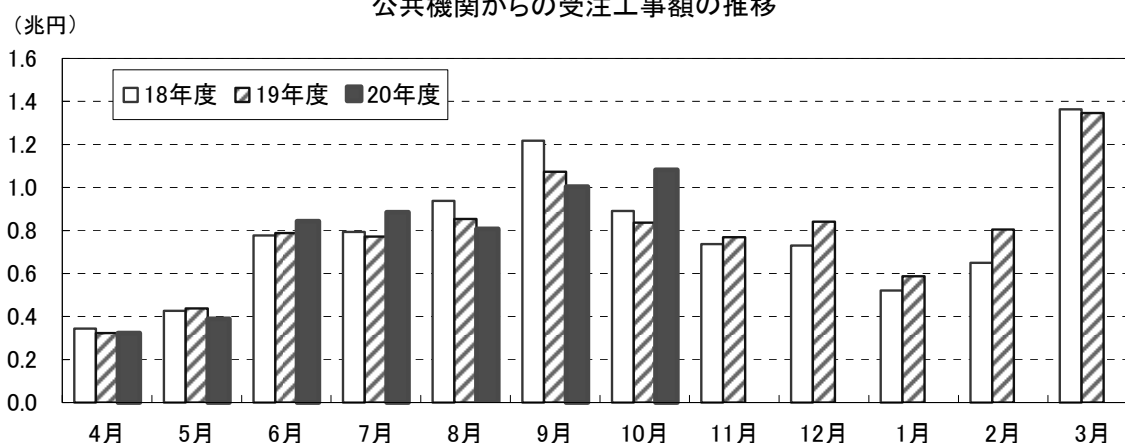
10月の公共機関からの受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は1兆818億円で、前年同月比29.2%増加（3ヶ月ぶり）した。うち国の機関からは4,372億円で同66.4%増加（2ヶ月ぶり）、地方の機関からは6,446億円で同12.2%増加（3ヶ月ぶり）した。

工事分類別でみると、郵便（前年同月比26,185.4%増、寄与度+10.9）、道路（同22.2%増、寄与度+7.3）等が増加し、上・工業水道（同21.6%減、寄与度-1.3）、港湾・空港（同20.6%減、寄与度-0.8）等が減少した。

さらに、発注機関・工事分類別でみると、国以外の機関の郵便（寄与度+10.9）、都道府県の治山・治水（寄与度+3.2）等のプラスの寄与度が大きい。

10月の大手50社調査では、公共工事は前年同月比242.0%増加（5ヶ月連続）した。

公共機関からの受注工事額の推移

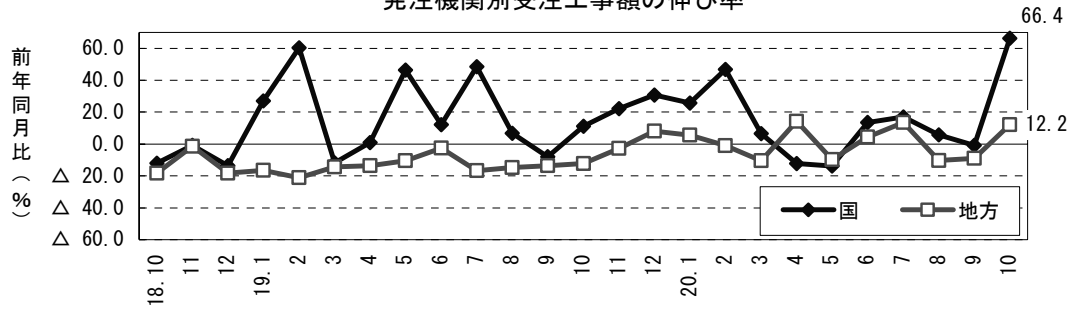


公共機関からの受注工事額（前年比・%）

区分	総計	国の機関			地方の機関					
		小計	国	国以外の機関	小計	都道府県	市区町村	地方公営企業	その他	
年度年月										
年	17年度	△ 10.2	△ 17.5	△ 23.3	△ 8.2	△ 6.1	△ 4.4	△ 10.4	19.6	△ 17.9
	18	△ 12.8	△ 10.0	△ 3.6	△ 18.5	△ 14.2	△ 15.2	△ 12.8	△ 16.9	△ 13.8
度	19	0.5	16.9	8.7	29.7	△ 8.0	△ 2.8	△ 11.4	△ 2.5	△ 33.5
月	19年10月	△ 6.0	11.2	13.0	8.8	△ 12.2	△ 18.7	8.8	△ 25.6	△ 63.9
	11	4.3	22.2	4.8	43.7	△ 2.7	2.5	1.6	△ 35.9	△ 16.4
	12	15.2	30.6	27.8	32.9	8.2	17.9	1.1	5.0	△ 27.2
	20年1月	12.8	25.7	26.9	24.2	5.6	41.6	△ 9.5	△ 49.4	△ 27.0
	2	24.0	46.8	56.0	35.4	△ 1.0	△ 0.6	△ 6.2	53.5	△ 34.3
	3	△ 1.2	6.6	4.7	10.2	△ 10.5	△ 11.4	△ 2.8	△ 13.3	△ 47.6
	4	0.1	△ 12.3	△ 12.7	△ 11.8	14.3	△ 12.4	18.5	51.9	57.1
	5	△ 11.1	△ 13.8	26.1	△ 38.8	△ 9.7	△ 37.4	1.5	40.6	△ 3.7
	6	7.1	13.5	△ 35.2	88.3	4.5	9.9	0.1	5.4	24.2
	7	14.7	17.0	21.1	11.9	13.5	6.5	22.5	△ 14.7	55.4
次	8	△ 5.4	5.8	△ 9.6	31.1	△ 10.3	△ 9.2	△ 1.7	△ 42.4	△ 27.2
	9	△ 6.4	△ 0.9	2.1	△ 4.6	△ 9.0	△ 4.9	△ 4.7	△ 33.7	△ 38.6
	10	29.2	66.4	45.3	94.0	12.2	19.2	5.8	15.1	△ 12.2
累計	4月～10月	4.9	13.2	4.3	24.5	0.9	△ 0.5	4.2	△ 8.4	3.1

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

発注機関別受注工事額の伸び率



政府建設投資関連指標

(単位: 億円)

	公共機関からの受注工事				公共工事 請負金額(※)	出来高 (総合統計)	公的固定 資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
18年度	93,878	31,969	61,909	20,867	122,838	175,608	212,322
19	94,329	37,381	56,948	21,031	117,818	169,927	203,608
19年IV期	24,473	8,148	16,326	4,162	28,811	52,333	62,478
20年I期	27,398	15,264	12,134	9,427	26,287	47,664	56,565
II	15,555	5,386	10,170	4,045	28,444	31,682	37,736
III	26,965	9,034	17,932	5,223	33,180	36,741	44,747
20年5月	3,892	1,254	2,638	839	7,675	9,139	
6	8,439	2,618	5,821	2,447	9,743	9,812	
7	8,851	2,955	5,896	2,057	12,202	10,621	
8	8,074	2,775	5,299	1,530	9,253	12,237	
9	10,040	3,304	6,737	1,637	11,724	13,883	
10	10,818	4,372	6,446	3,016	11,697	16,114	

(前年比・%)

	公共機関からの受注工事				公共工事 請負金額(※)	出来高 (総合統計)	公的固定 資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
18年度	△ 12.8	△ 10.0	△ 14.2	△ 15.6	△ 5.2	△ 11.0	△ 7.7
19	0.5	16.9	△ 8.0	0.8	△ 4.1	△ 3.2	△ 4.1
19年IV期	3.8	21.2	△ 3.1	△ 7.2	△ 2.9	△ 3.3	△ 1.7
20年I期	8.1	20.2	△ 3.9	18.8	△ 5.2	△ 2.8	△ 5.6
II	0.5	△ 1.9	1.8	17.4	△ 8.4	△ 4.1	△ 4.2
III	△ 0.1	6.5	△ 3.1	30.7	4.7	△ 0.4	△ 0.9
19年10月	△ 6.0	11.2	△ 12.2	△ 38.6	△ 3.2	△ 3.7	
11	4.3	22.2	△ 2.7	△ 15.1	△ 4.3	△ 2.3	
12	15.2	30.6	8.2	27.5	△ 1.1	△ 3.7	
20年1月	12.8	25.7	5.6	36.0	△ 3.5	△ 3.7	
2	24.0	46.8	△ 1.0	45.9	13.1	△ 3.4	
3	△ 1.2	6.6	△ 10.5	△ 0.4	△ 12.6	△ 1.5	
4	0.1	△ 12.3	14.3	△ 3.3	△ 4.7	△ 3.7	
5	△ 11.1	△ 13.8	△ 9.7	△ 12.7	△ 9.6	△ 5.8	
6	7.1	13.5	4.5	44.0	△ 11.3	△ 2.9	
7	14.7	17.0	13.5	93.9	13.8	△ 1.9	
8	△ 5.4	5.8	△ 10.3	14.0	△ 6.0	0.6	
9	△ 6.4	△ 0.9	△ 9.0	2.7	5.5	△ 0.2	
10	29.2	66.4	12.2	242.0	△ 0.4	0.3	
4月~10月	4.9	13.2	0.9	47.6	△ 1.5	△ 1.7	

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」「建設総合統計」、内閣府「四半期別GDP速報」

北海道建設業信用保証(株)・東日本建設業保証(株)・西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」

注) 公的固定資本形成は、名目、原系列値。

(※) 公共機関からの受注工事が請負契約時点ベースでの請負契約の全体額を計上しているのに対し、公共工事請負金額は前払保証契約時点ベースでの前払保証の対象となる請負金額を計上している等の理由により、必ずしも両者の傾向は一致しない。

(3) 住宅

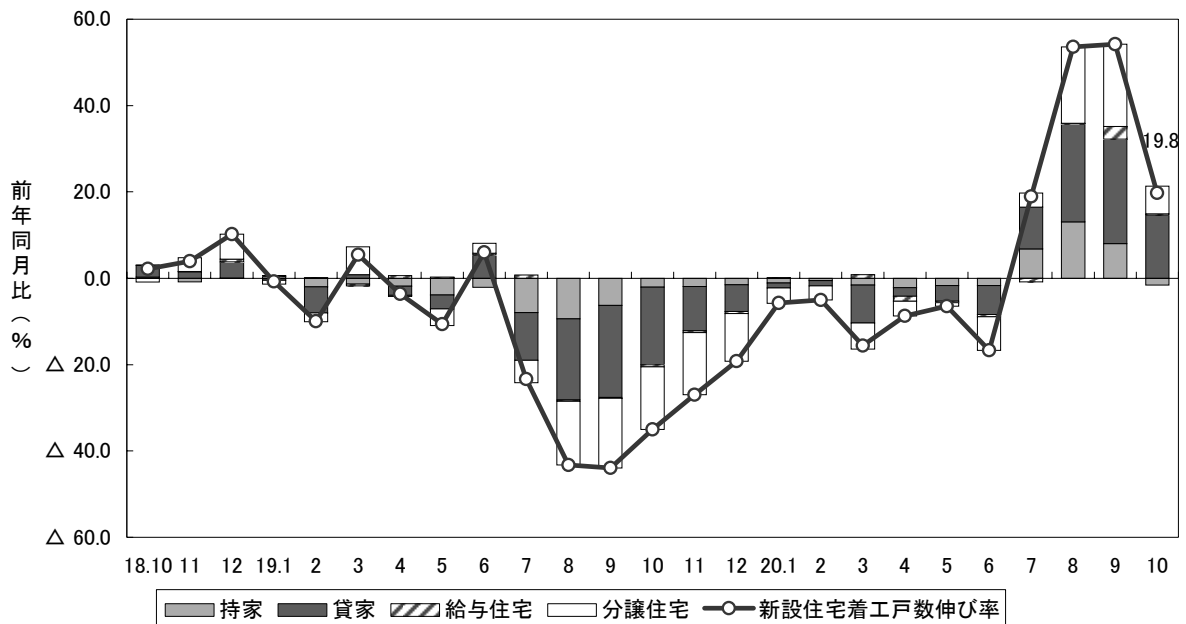
10月の着工は92,123戸。前年同月比でみると、持家は減少したものの、貸家、分譲住宅が増加したため、全体で19.8%増加（4ヶ月連続）した。

季節調整済年率換算値の推移をみると、平成19年7-9月期799千戸（前期比37.1%減）、10-12月期961千戸（同20.3%増）、平成20年1-3月期1,127千戸（同17.2%増）、4-6月期1,132千戸（同0.5%増）、7-9月期1,119千戸（同1.1%減）、10月1,027千戸（前月比8.9%減）となった。

新設住宅着工戸数（戸、前年比・%）

区 分		総戸数	総 計	持 家	貸 家	分 譲 住 宅	マンション	季節調整済 年率換算値 総戸数 (千戸)
年度年月								
年 度	17年度	1,249,366	4.7	△ 4.0	10.8	6.1	11.2	
	18	1,285,246	2.9	0.9	3.9	3.3	4.8	
	19	1,035,598	△ 19.4	△ 12.3	△ 19.9	△ 26.1	△ 34.0	
月 次	19年10月	76,920	△ 35.0	△ 8.0	△ 40.2	△ 50.2	△ 71.1	857
	11	84,252	△ 27.0	△ 7.6	△ 23.4	△ 47.4	△ 63.9	956
	12	87,214	△ 19.2	△ 6.0	△ 14.4	△ 35.5	△ 49.7	1,050
	20年1月	86,971	△ 5.7	△ 4.2	△ 2.7	△ 11.6	△ 12.0	1,187
	2	82,962	△ 5.0	△ 2.1	△ 3.1	△ 9.7	△ 11.9	1,150
	3	83,991	△ 15.6	△ 6.1	△ 22.0	△ 18.0	△ 22.2	1,088
	4	97,930	△ 8.7	△ 7.8	△ 5.3	△ 10.4	△ 10.7	1,151
	5	90,804	△ 6.5	△ 5.7	△ 8.6	△ 3.1	4.0	1,072
	6	100,929	△ 16.7	△ 6.6	△ 15.1	△ 27.2	△ 36.5	1,130
	7	97,212	19.0	23.1	22.7	12.7	15.9	1,144
8	96,905	53.6	35.6	59.6	73.7	128.8	1,130	
9	97,184	54.2	19.9	66.9	82.8	217.6	1,126	
10	92,123	19.8	△ 4.3	35.4	28.9	96.3	1,027	
累計	4月～10月	673,087	10.3	6.1	14.0	10.4	20.4	—

新設住宅着工戸数の伸び率と利用関係別寄与度



資料：国土交通省「建築着工統計調査」

<持家>

10月の着工は26,533戸。東北、関東及び沖縄では増加、その他の地域では減少し、全体では前年同月比4.3%減少(4ヶ月ぶり)した。

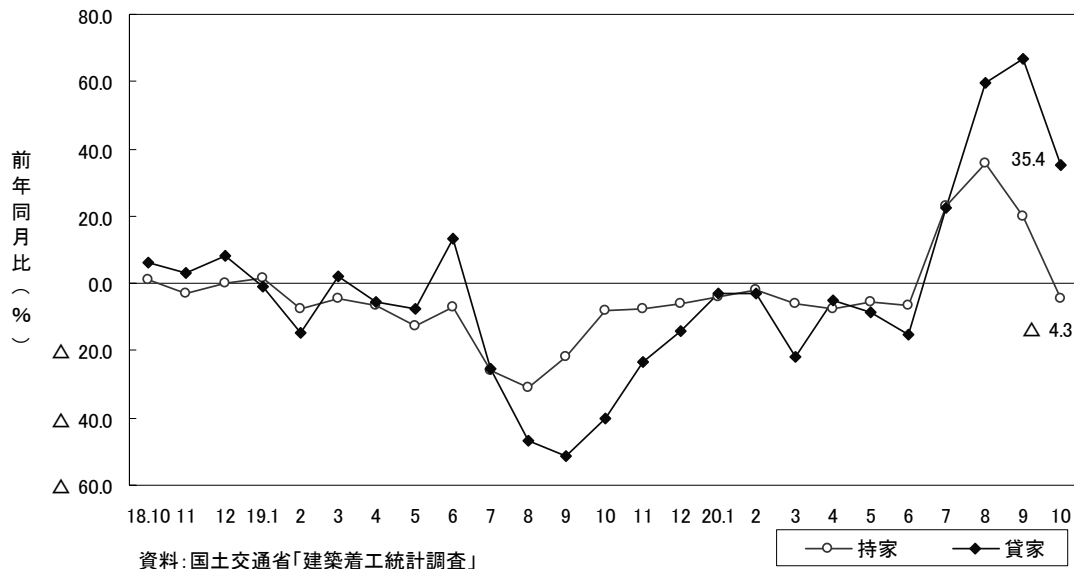
<貸家>

10月の着工は42,940戸。北海道、北陸及び中国では減少、その他の地域では増加し、全体では前年同月比35.4%増加(4ヶ月連続)した。

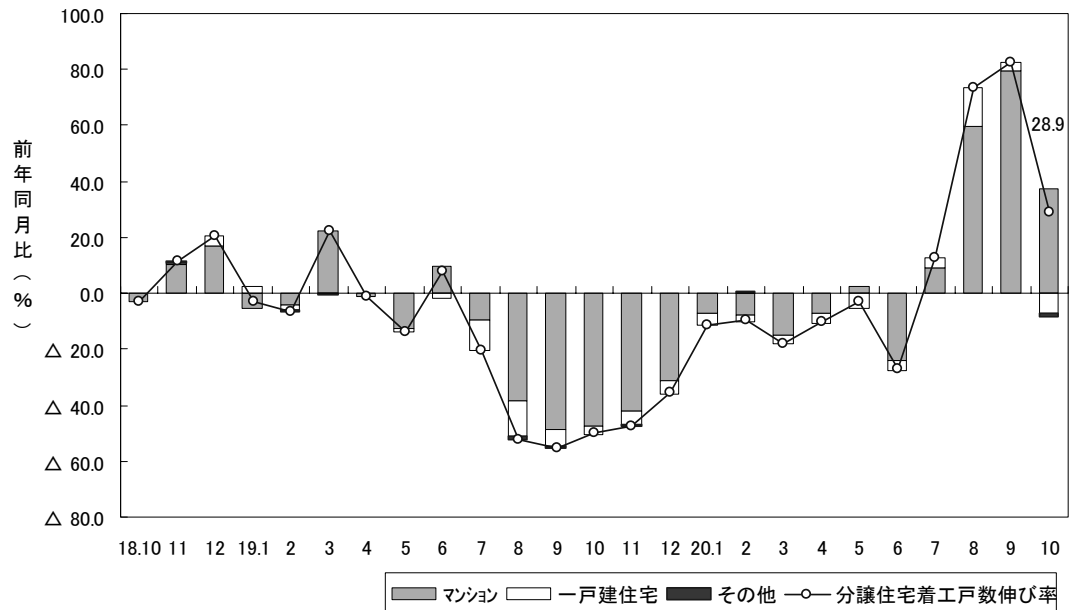
<分譲>

10月の着工は21,963戸。北海道、北陸及び中部では減少、その他の地域では増加し、全体では前年同月比28.9%増加(4ヶ月連続)した。マンションは12,889戸で、首都圏は増加(6,047戸、前年同月比124.6%増、4ヶ月連続)、中部圏は減少(691戸、同31.8%減、4ヶ月ぶり)、近畿圏は増加(2,917戸、同82.2%増、3ヶ月連続)、その他の地域は増加(3,234戸、同156.5%増、4ヶ月連続)し、全体では同96.3%増加(4ヶ月連続)した。一戸建住宅は9,012戸で、同11.8%減少(4ヶ月ぶり)した。

持家・貸家着工戸数の伸び率



分譲住宅着工戸数の伸び率とマンション、一戸建住宅の寄与度



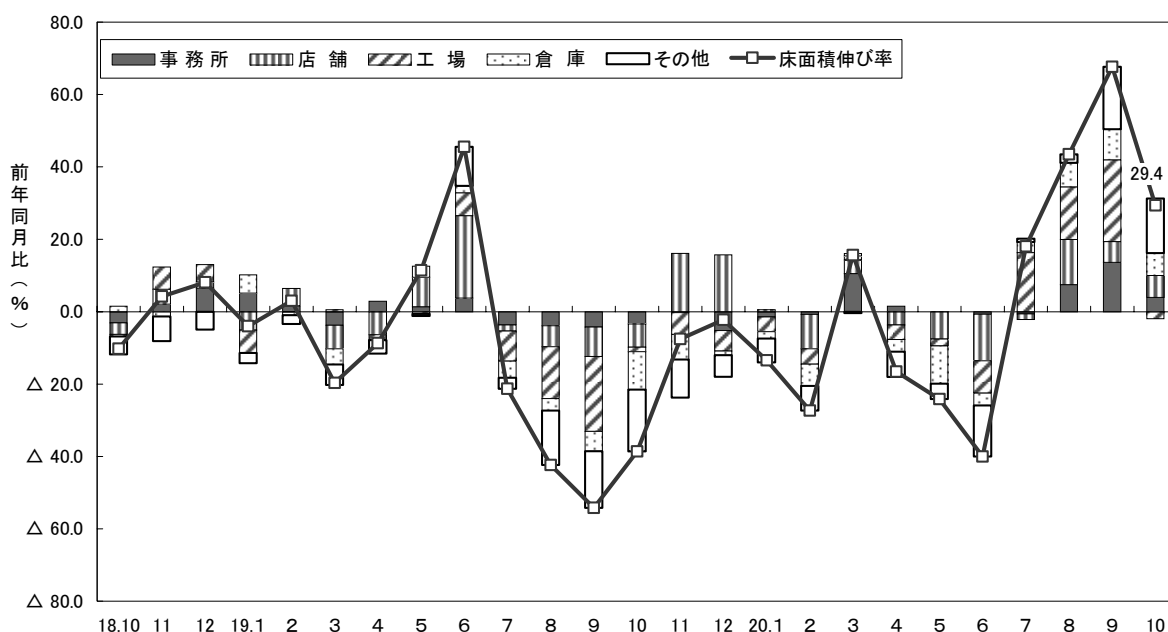
(4) 民間非居住建築

10月の着工床面積は426万㎡で、前年同月比29.4%増加(4ヶ月連続)した。

着工床面積を用途別にみると、事務所は51万㎡で前年同月比34.3%増加(3ヶ月連続)、店舗は58万㎡で同52.4%増加(3ヶ月連続)、工場は103万㎡で同5.8%減少(4ヶ月ぶり)、倉庫は48万㎡で同75.0%増加(4ヶ月連続)した。

日本銀行「全国企業短期経済観測調査」(平成20年12月実施)で平成20年度の設備投資計画をみると、製造業(大企業)は前年度比2.4%増加(平成19年度前年度比4.6%増加)となり、非製造業(大企業)は同1.7%減少(平成19年度同5.0%増加)となった。また、全産業(大企業)の生産・営業用設備判断DI(過剰-不足)をみると、「最近」は7、「先行き」は10となり、設備過剰感は製造業を中心に大幅に高まっている。

民間非居住用建築物着工床面積の伸び率と用途別寄与度



区分		床面積					工事費予定額				
		総計	事務所	店舗	工場	倉庫	総計	事務所	店舗	工場	倉庫
年	17年度	3.8	△ 4.4	9.7	6.8	16.3	6.2	△ 9.6	17.0	13.2	17.6
	18	0.6	2.5	△ 9.5	8.8	8.9	3.2	2.1	△ 3.1	10.3	17.4
	19	△ 12.2	△ 5.2	14.9	△ 21.9	△ 19.1	△ 8.3	3.2	13.6	△ 15.1	△ 13.4
月	19年10月	△ 38.6	△ 32.1	△ 47.7	△ 5.6	△ 67.4	△ 34.9	△ 19.8	△ 40.6	11.8	△ 68.7
	11	△ 7.6	△ 2.5	82.1	△ 26.9	△ 53.3	△ 13.6	△ 7.0	49.9	△ 6.9	△ 46.8
	12	△ 2.3	△ 38.8	73.8	△ 24.6	△ 10.2	△ 6.5	△ 35.9	26.9	△ 18.6	6.0
	20年1月	△ 13.4	△ 10.9	3.0	△ 21.3	△ 10.9	△ 6.5	△ 5.3	18.2	△ 26.7	△ 0.3
	2	△ 27.3	△ 6.7	△ 43.9	△ 19.5	△ 40.0	△ 16.0	17.4	△ 36.6	2.7	△ 35.4
	3	15.7	85.3	22.8	4.4	5.0	36.8	142.2	29.0	30.9	△ 1.3
	4	△ 16.6	10.6	△ 23.4	△ 18.1	△ 23.5	△ 5.6	26.6	△ 33.0	△ 4.5	△ 5.9
	5	△ 24.1	0.3	△ 37.8	△ 9.5	△ 49.7	3.7	6.4	△ 17.8	4.8	△ 27.9
	6	△ 40.0	△ 7.6	△ 49.5	△ 41.9	△ 29.1	△ 33.6	4.9	△ 44.6	△ 26.6	△ 13.4
	7	18.0	△ 6.6	△ 7.8	81.3	20.3	76.9	16.1	1.6	336.4	13.0
次	8	43.5	75.7	107.1	77.6	32.6	64.0	88.4	169.5	109.2	96.2
	9	67.6	137.9	35.7	149.6	52.0	65.9	115.7	48.7	165.4	72.6
	10	29.4	34.3	52.4	△ 5.8	75.0	36.0	58.1	106.0	8.8	97.0
累計	4月~10月	△ 2.4	20.3	△ 16.6	8.8	△ 6.9	17.5	33.3	△ 2.4	56.9	16.1

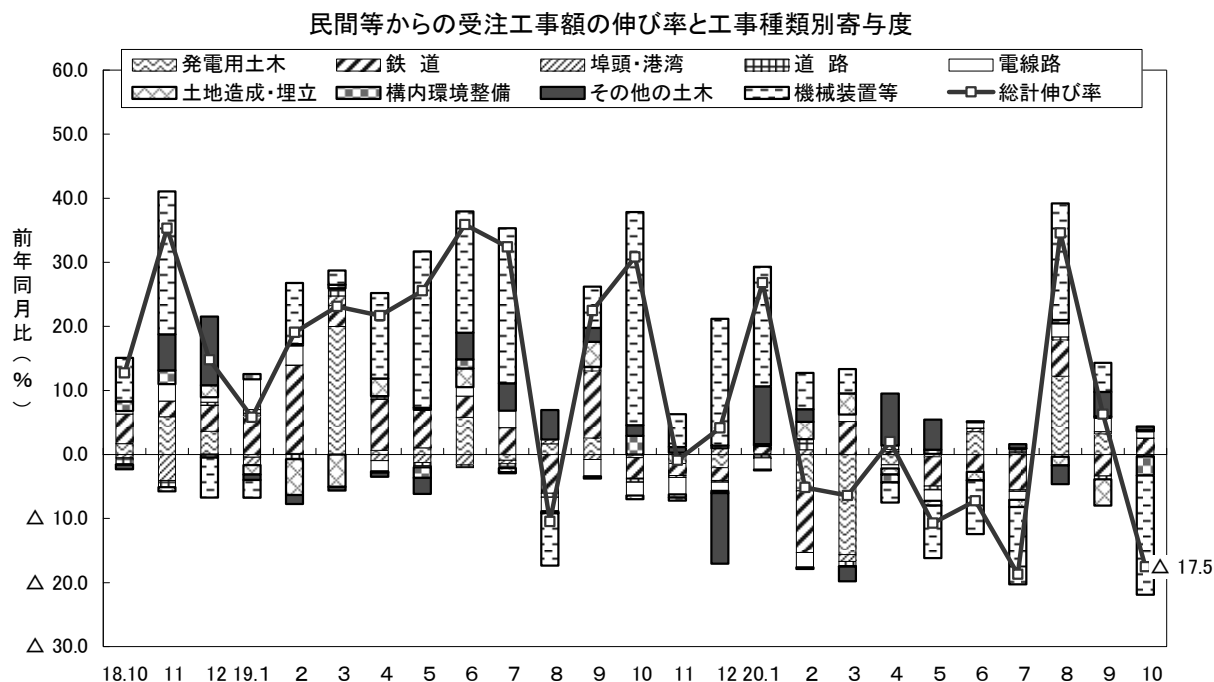
資料：国土交通省「建築着工統計調査」

(5) 民間等からの受注工事（土木工事及び機械装置等工事）

10月の土木工事及び機械装置等工事の受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は2,918億円で、前年同月比17.5%減少（3ヶ月ぶり）した。

発注者別でみると、情報通信業（前年同月比84.8%増、寄与度+8.0）、運輸業、郵便業（同33.9%増、寄与度+3.7）等が増加し、製造業（同38.3%減、寄与度-15.7）、電気・ガス・熱供給・水道業（同36.5%減、寄与度-7.4）等が減少した。

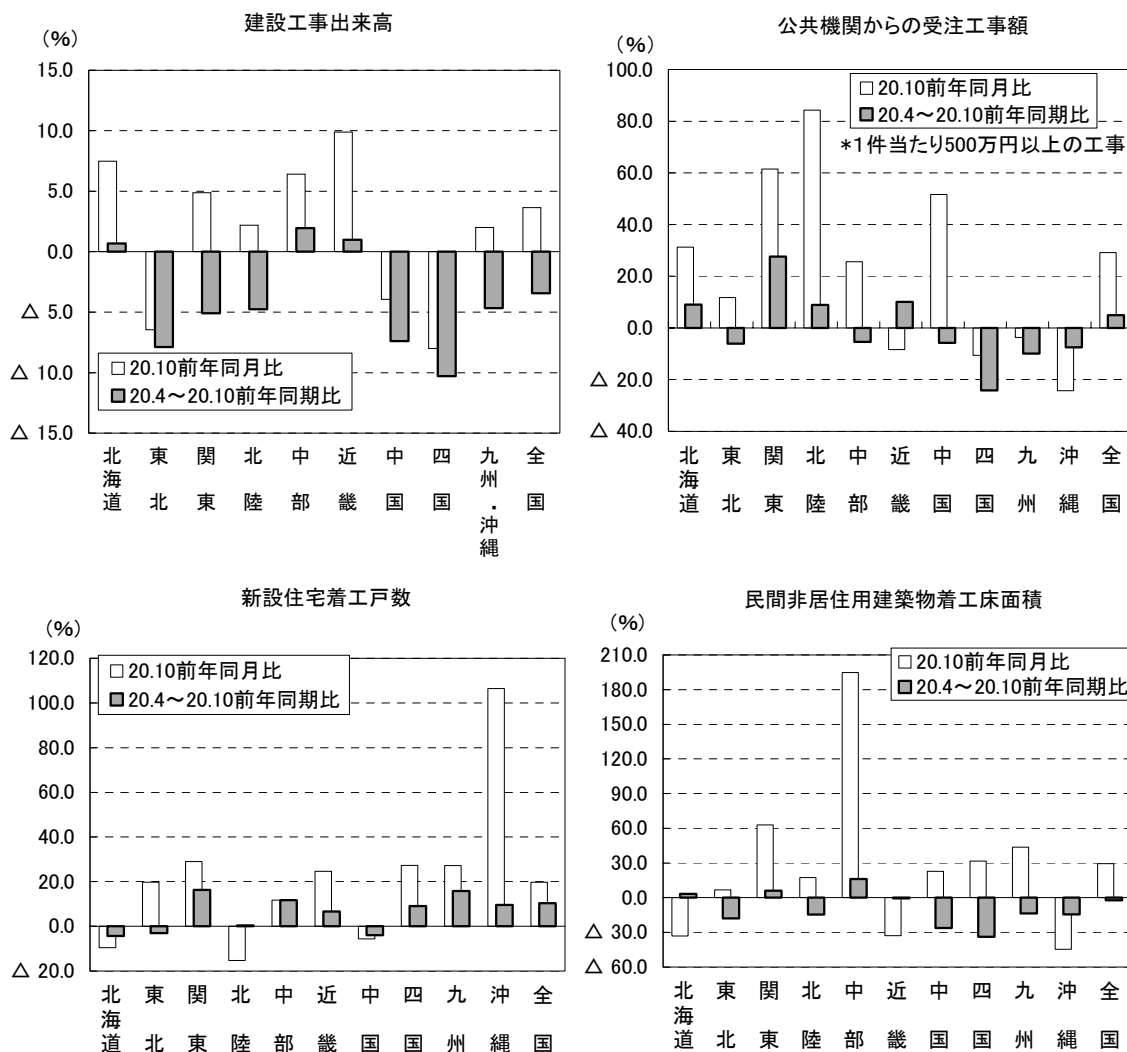
工事種類別でみると、鉄道工事（寄与度+2.5）、電線路工事（寄与度+1.1）等が増加し、機械装置等工事（寄与度-18.6）、構内環境整備工事（寄与度-2.9）等が減少した。



区分		(前年比・%)								
年度年月		総計	発電用土木	鉄道	埠頭・港湾	道路	電線路	土地造成・埋立	構内環境整備	機械装置等
年	17年度	3.6	△ 5.3	△ 0.8	120.6	38.1	18.0	51.0	7.2	△ 11.9
	18	13.5	110.9	32.2	△ 1.0	△ 1.0	17.6	△ 24.4	25.1	10.6
	19	12.5	△ 39.8	7.7	△ 23.0	△ 9.7	△ 7.2	18.1	3.1	35.1
月	19年10月	30.8	△ 17.7	△ 21.0	△ 15.3	△ 26.8	△ 14.9	△ 8.8	76.9	76.5
	11	△ 0.9	△ 23.3	△ 14.5	47.1	△ 28.7	△ 21.3	△ 6.7	△ 13.1	11.9
	12	4.1	△ 46.8	△ 12.6	104.6	△ 16.9	△ 12.9	△ 4.5	13.4	61.1
	20年1月	26.8	7.0	7.1	△ 20.1	△ 19.1	△ 9.8	4.6	△ 3.8	53.0
	2	△ 5.1	△ 84.2	△ 41.9	128.4	294.6	△ 22.3	51.8	△ 10.2	14.2
	3	△ 6.4	△ 89.7	24.1	△ 42.3	△ 48.7	17.6	50.3	4.0	13.7
	4	2.0	△ 34.9	2.6	35.3	44.4	△ 3.7	△ 11.9	△ 28.9	△ 8.7
	5	△ 10.7	△ 13.5	△ 28.2	20.1	△ 40.5	△ 18.9	△ 10.8	23.0	△ 16.9
	6	△ 7.3	63.2	△ 18.4	47.3	5.7	8.6	△ 13.8	△ 2.0	△ 21.5
	7	△ 18.7	24.4	△ 39.8	△ 67.4	90.3	△ 7.1	△ 25.1	2.2	△ 27.7
次	8	34.6	331.6	36.4	△ 22.0	41.2	21.9	△ 17.7	15.2	46.3
	9	6.3	48.9	△ 15.1	91.0	△ 28.6	29.2	△ 44.2	7.3	13.1
	10	△ 17.5	△ 5.2	27.4	3.8	△ 21.4	11.6	3.4	△ 57.4	△ 31.8
累計	4月～10月	△ 2.9	61.8	△ 8.6	16.3	2.1	3.6	△ 19.8	△ 11.4	△ 10.9

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

(6) 地域別動向



区分	出来高		受注・着工			企業 倒産 件数	雇用			
	建設 工事 出来高	公共機関 受注	新設 住宅	民間非 居住用 建築物	民間等 受注 (土木・機械)		建設業 労働者不足率 (6職種計・原数値)	有効求人 倍率		
	4月～10月 前年比(%)	4月～10月 前年比(%)	4月～10月 前年比(%)	4月～10月 前年比(%)	4月～10月 前年比(%)	4月～11月 前年比(%)	10月 %	10月 前年差	10月 倍	10月 前月差
北海道	0.7	9.0	△ 4.3	3.2	△ 4.0	39.2	△ 0.6	△ 1.4	0.48	△ 0.01
東北	△ 7.9	△ 6.0	△ 3.0	△ 17.9	△ 8.5	7.7	△ 0.3	△ 1.2	0.54	△ 0.03
関東	△ 5.1	27.7	16.3	6.1	0.3	11.9	△ 1.5	△ 3.6	0.93	△ 0.04
北陸	△ 4.7	8.9	0.5	△ 14.8	23.0	44.2	2.0	0.2	0.85	△ 0.06
中部	2.0	△ 5.4	11.8	16.2	11.1	13.6	△ 1.0	△ 0.9	1.15	△ 0.11
近畿	1.0	10.1	6.6	△ 0.5	0.4	8.4	△ 0.6	△ 1.9	0.83	△ 0.01
中国	△ 7.4	△ 5.8	△ 3.9	△ 26.2	△ 12.1	59.8	△ 1.5	△ 2.0	0.95	△ 0.05
四国	△ 10.3	△ 24.2	9.0	△ 33.9	△ 49.8	4.9	0.4	△ 0.4	0.80	△ 0.02
九州	△ 4.7	△ 9.9	15.8	△ 13.6	△ 16.4	22.1	0.1	△ 0.4	0.57	△ 0.03
沖縄	—	△ 7.5	9.6	△ 14.5	△ 64.8	25.0	0.4	△ 0.3	0.34	△ 0.01
全国	△ 3.4	4.9	10.3	△ 2.4	△ 2.9	16.4	△ 0.6	△ 1.6	0.80	△ 0.03

資料：国土交通省「建設総合統計」、「建設工事受注動態統計調査」、「建築着工統計調査」、「建設労働需給調査」、
帝国データバンク「全国企業倒産集計」、厚生労働省「職業安定業務統計」

注) 建設工事出来高の「九州」欄は、沖縄を含む値となっている。

建設技能労働者不足率は、プラスは不足、マイナスは過剰を意味する。

雇用に関する指標の前年差、前月差の単位は、ポイント。